



長年、太鼓指導をお世話になった藤本先生が今年度で、指導から離れられることになりました。最後に、ひかり学級の子どもたちが太鼓の演奏を発表し、手紙と花束をプレゼントしました。藤本先生は、「こんなプレゼントまでもらって、とてもうれしいし、驚いています。」とおっしゃっていました。また、「自分は太鼓を子どもたちに『教えてやろう』と思ったことはない。楽しんでいるかは、子どもの表情を見れば分かりますから。」とおっしゃっていたことが、心に残りました。藤本先生が体育館から出られると、玄関まで見送りに来て、「もう、会えないのは、寂しいなあ。」「お元気で、また、来てください。」と、声をかけ、別れを惜んでいる子もいました。藤本先生、本当に長い間、安詳の子どもたちのために、お力をいただき、ありがとうございました。